

令和7年度

白地小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

正確に読もう！発信しよう！ふり返ろう！
～思考力、判断力、表現力の向上を目指して～

校長

学力向上推進員

【各校の取組状況の把握について】

◎次の（１）～（３）をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

（１）知識・技能の習得

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○落ち着いて真面目に学習に取り組むことができる。 ○視写や聴写等の活動を通して、書くスピードが上がり、その量も増えている。 ●語彙が乏しく、様々な表現方法にふれる機会も少ない。表現に関する知識・技術の習得に課題がある。	・様々なメディアが発信する文章などから、読み違い、読み飛ばし、思い込み等をせずに 情報を読み取る ことができる。	・木曜日のドリルの時間を「視写・聴写タイム」とし、新聞等 様々な文章 にふれたり、その情報を 正確に読み取ったり することができる。（週1回以上） ・授業では、課題解決の前に必要な情報を 正確に読み取れているか 確認する。（授業等）	・視写や聴写を行う際は、書き写すだけでなく、正確に読み取れているか読み取った内容を確認したり、それに対する自分の意見を発表したりする機会を設定し、理解を深める。 ・授業の始めに前時の学習についてふり返り、本時の課題や学習内容につなげられるようにする。		

（２）思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○自分の意見を進んで伝えられる子どもが増えるとともに、司会の仕方等、話し合いがスムーズに進むよう工夫する姿も見られる。 ●意見はあるものの、それを的確に表現する力が十分育っていない。	・ 根拠や自分の考えを 明確にし、 表現方法 を選んで 発信 することができる。	・各教科や児童会活動等、 話し合い活動 の充実を図る。 ・目的や相手に応じた表現方法で、学んだことや伝えたいことを 発信する活動 を行う。	・ペアやグループ、学級全体等、話し合う形態を工夫し、全員が自分の意見を伝えられるよう配慮する。 ・他学年や他校の児童に学んだことを伝える等、相手意識をもって活動できるようにする。		

（３）主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○素直で優しく、決められたことに一生懸命取り組むことができる。 ●より高い目標に向かって、粘り強く取り組むことに課題がある。また自己肯定感の低い子どももいる。	・自己の成長に気づき、 主体的に粘り強く 学習に取り組むことができる。	・行事や授業における ふり返りの充実 を図る。 （低学年）めあてを明確にして、具体的に自己の学びをふり返ることができるようにする。 （中学年）活動や授業のめあてにそったふり返りができるようにする。 （高学年）授業のねらいや場面に応じて、ふり返る内容を焦点化するようにする。	・子ども達が学んだことについてじっくりふり返れるよう、十分な時間を確保する。 ・口頭だけでなくタブレット等を活用し、文字や動画等、ふり返ったことを記録に残して活用する。		